

識別番号 P 2 6
研究課題 日本ブラジル交流年記念シンポジウム
研究代表者 エレナ・ヒサコ・トイダ
共同研究者

Summary The year of 2008 marks the celebration of the centenary of Japanese immigration in Brazil. How the “new land” had transformed the Japanese people and molded their descendants Nikkeis during the past years? In this symposium, by examining the history of immigration in Brazil, we will take this opportunity for thinking about the next 100 years.

1. 本研究の目的および背景

2008年6月18日、初めての日本移民がブラジルの地を踏んでから100年がたった。そして現在、日本には約32万人のブラジル人が暮らしている。その多くはブラジルの経済状態の悪化により、デカセギとして日本で働いている。地理的に一番遠い国でありながら、日本と非常に密接な関係にあるブラジルは、そこに定住した日本人とその子孫をどのように形成してきたのだろうか。また在日ブラジル人は自分自身の存在をどうとらえているのだろうか。

本シンポジウムのパネリストである、両国において様々な分野で活躍する日系2世、3世が、その活動や考えについて発表を行い、移民の歴史を振り返りながらこれからの100年を展望する契機にしたい。

2. 研究所における本研究企画の位置づけ

当研究所では、これまで日本移民および在日ブラジル人を対象とした研究活動を行ってきた。

その一環として、ブラジルの日系人研究者および海外の在日ブラジル人研究者の受け入れを積極的に行ってきた。前者の例として、エルヴィラ・マリ・クボ教授（パラナ連邦大学）、サトウ・ナナミ教授（カスペル・リベロ大学）などを受け入れた。後者の例としてはユウミ・ガルシア・ドス・サントス氏（サンパウロ大学博士課程）および現在客員研究員であるウゴ・マルティン・ヴィデラ氏（UCバークレー校博士課程）、エリカ・アヤコ・サカタ・トング氏（サンパウロ大学博士課程）などがあげられる。

また、内外に在日ブラジル人の生活実態を広く伝える目的で、大学広報誌『ソフィア』（221号）において、「越境する人々 日本とブラジル」と題し、当時の所長である三田千代子がコーディネータを務め、在日ブラジル人コミュニティの代表者を交えて、誌上座談会を行った。

さらに、在日ブラジル人研究の拡大・深化にともない、研究者ネットワークの構築が不可欠となったことを踏まえ、本年3月15日には、「日本社会とブラジル人—研究者ネットワークの構築にむけて」と題するワークショップを開催した。若手研究者を中心に16名が登壇したほか、会場からも活発な質問や意見が出されるなど、当初の目的を達成するに

あまりあるものとなった。

本企画もこれらの活動の一環として位置づけられるものである。

3. 社会における本研究企画の位置づけ

ブラジル向け日本人移住 100 周年を記念して「日本ブラジル交流年」と銘打たれた本年、研究所では既に、前述の 3 月に行われたワークショップが、外務省からその公式行事として認可を受けている。このワークショップの開催に合わせて、JICA 海外移民資料館所蔵の日本移民に関するパネル展を行い、好評を博した。今回のシンポジウムも、外務省の認可を得て日本ブラジル交流年の公式行事として行い、当研究所が果たすべき学術分野における社会的貢献を目指して、大学内外に広く公開していく。

4. 日本交流年記念シンポジウムポスター

日本ブラジル交流年
記念シンポジウム

Simpósio Comemorativo
do Ano de Intercâmbio
Japão-Brasil

日系ブラジル人がみる 日本移民100周年

2008年6月18日、
初めての日本移民がブラ
ジルの地を踏んでから 100 年
がたった。1 世紀もの時の流れ
は、どのようにかの地に定住した
日本人とその子孫を形成してき
たのだろうか。移民の歴史を
振り返りながら、これから
の 100 周年を展望する
契機にしたい。

日時 2008 年 11 月 15 日 (土) 午前 10 時～
Data Sábado, 15 de Novembro, 10:00 am
場所 上智大学中央図書館総合研究棟 9 階 L-921 会議室
Local Sala 921, 9º andar, Biblioteca Central da Universidade Sofia
入場無料・予約不要 Entrada Livre

プログラム

午前
基調講演 エルザ・タエコ・ドイ カンピーナス大学大学院教授
Dra. Elza Taeko Doi (Unicamp)
講演 様々な分野(教育、スポーツ、企業)で活躍する日系ブラジル人の
方々に、ご自身の 100 周年に対する思いなどについてお話いただく。

午後
日系ブラジル人によるラウンドテーブル
学生「若い世代にとつての 100 周年」
社会人「新たな 100 周年に向けて」

上智大学イベロアメリカ研究所・ポルトガル語圏研究所・外国語学部ポルトガル語学科 共催
Organizadores: Instituto Iberoamericano, Centro de Estudos Luso-Brasileiros, Departamento de Estudos Luso-Brasileiros
お問い合わせ / informações: Tel: 03-3238-3536 E-Mail: celuso@sophia.ac.jp